



# 学園通信

練馬区立大泉学園中学校  
平成30年10月31日発行 校長 晴佐久和彦

## 持てる力を存分に発揮

秋晴れのさわやかな日が続くこの頃ですが、そうした中、月曜日に「第37回合唱コンクール」を練馬文化センター大ホールにて開催致しました。当日は早朝より多くのご来賓、保護者の皆様が来場してくださり、各クラスの生徒の歌声に温かい励ましの拍手をいただきました。心より感謝申し上げます。

ところで、合唱コンクールのような全校の大きな行事を運営していくには、事前の様々な準備が重要になります。プログラムが円滑に進み、歌う立場、聴く立場それぞれの感動につながるコンクールとなるために、先生方のご指導のもと実行委員の生徒の皆さんは本当によく頑張りました。この行事をしっかりと支えてくれたことに感謝したいと思います。

さて、開会式では、「練習してきたことを、すべて出し切ってほしい」と皆さんにお願いしましたが、ステージに立ってみてどうだったでしょうか。今年も審査員の一人として全学年の合唱をじっくりと聴かせていただきましたが、感じたことを少し述べてみます。

まず、基本的なステージの出入りを含めた演奏態度ですが、リハーサルなどで練習したことを生かして、クラスで統一感のあるきびきびとした動きが出来ていたと思います。客席での聴く態度も概ね良かったと思いますが、演奏が終わって、少し気が抜けた様子が一部あったので気をつけてほしいと感じました。

そして、演奏についてですが、クラスごとの個性というものがよく出ていました。合唱ですから声の大きさは必要な要素ですが、声の大きさにプラスアルファがあることで、聴く者に何とも言えぬ「感動」が伝わってきます。では、プラスアルファの部分とは何でしょうか。それは、言葉の一語一語を伝えようとする発声であったり、同じパートの人達が互いに聴き合いながら丁寧に表現しようとする姿であったり、練習でやった曲想をクラス全体で表そうとするまとまりであったりします。音楽的には若干の音のずれがあったとしても、それを超えてあまりある表現があれば高い審査点につながるのではないのでしょうか。ただ、これはあくまでも私個人の意見、思いですので、ご了解ください。毎回審査をするたびにできるだけ良い点をつけてあげたくて悩みます。

今回の合唱コンクールで、十分に力を出し切ったと感じる人もいれば、もっと自分やクラスは歌えたはずだと思った人もいるかもしれません。1, 2年生はこうした反省を生かして、来年はさらなる高みを目指してください。そして、最後のコンクールとなった3年生の皆さん。昨年度よりも格段にレベルアップした姿から先生は大きな感動をもらいました。タイトルの「持てる力を存分に発揮」は今回のコンクールで学んだことをきっかけにして、今後の進路決定、さらには卒業後の人生にぜひいかしてほしい言葉です。大事な場面で十分に力を発揮できるよう、日頃の生活における積み重ねを大切にしていきましょう。

## 小学生体験授業

10月2日（火）に小学生体験授業を行いました。例年大泉学園小学校と大泉学園緑小学校の児童を本校に招き、大泉学園中学校の紹介と授業を体験しています。残念なことに当日は大泉学園緑小学校の児童は運動会の予備日ということで参加できませんでした。学校の紹介は生徒会が中心となりクイズ形式で進めました。また、部活動の紹介やプレゼンテーションソフトを使った練馬区立中学校海外派遣生徒の代表2名による発表も行われました。学校紹介の後に体育の授業を体験しました。男子は校庭でソフトボール、女子は体育館で器械体操を行いました。今回の体験で中学校生活の不安を解消し、来年度多くの児童が本校に入学してくれることを望んでいます。



## 修学旅行

10月8日（月）～10日（水）の3日間に3年生は京都・奈良に修学旅行に行ってきました。事前の天気予報では台風の影響が心配されました。大泉学園駅の班の集合に間に合わなかった生徒がいましたが大きなトラブルもなく無事実施することができました。1日目は法隆寺の見学、奈良公園を中心に班別行動を行いました。2日目は京都市内班別行動（体験学習含む）で昼食は班ごとでした。3日目の午前中まで京都班別タクシーでした。今回の修学旅行は班行動が中心で、班の仲間と協力し合い、奈良・京都の美しい国宝や建造物を実際に目の当たりにして日本の歴史を心で感じ、深く学ぶことができました。また、陶器の絵付けや万華鏡作りなど様々な体験学習ができ、形に残る思い出もできました。



## 地域と考える防災

10月13日（土）に『地域と考える防災』を行いました。参加していただいたのは石神井消防署大泉学園出張所、消防団第8分団、大泉学園中学校避難拠点運営連絡会の町内自治会（大泉学園中央会・東町会・東自治会）、練馬区区民防災課、区要員、PTAおよびボランティアの皆様です。当日までは天候が心配でしたが



無事すべての訓練を行うことができました。この訓練は、目的は2つあります。

- (1) 災害発生時の防災知識および防災技術を身に付ける。
- (2) 地域の人たちと協働して防災に取り組むことにより、生徒に地域の一員である自覚や、『助けられる人から助ける人へ』の意識をもたせる。」

訓練内容は1年生はバケツリレーとポリタンクによる水運び、煙体験、起震車で地震の体験。2年生は三角巾による包帯法訓練と机などを使った搬送訓練。3年生はD級ポンプの取り扱いと放水訓練、消火器の取り扱い、消防車の機能紹介。生徒会本部役員と生活委員は、炊き出し訓練と仮設トイレの設置を行いました。今年度は起震車を借りることができ、地震の揺れを体験することができました。また、放水訓練は昨年度までは校庭に放水していたものを実際の建物として体育館に向け行いました。実際に災害が発生した時に備え、大泉学園中学校の生徒が地域の方々と協力して対応できるように訓練を行いました。ご多用な中、参加して下さった地域の皆様、ありがとうございました。



## 生徒総会

10月22日(月)に各種委員会の委員長の任命式がありました。また、10月25日(木)の6校時体育館で生徒総会が開かれました。各種委員会の後期の活動方針に厳選された質問が出されていました。1年C組中野亮正君の閉会の言葉を紹介します。「皆さん、今日の生徒総会は、どうでしたか。各種委員会についての理解を深めることはできましたか。この生徒総会の内容は今後の皆さんの学校生活に反映されていきます。各種委員会の皆さんは、今回の協議の内容を忘れずに今後の委員会での活動に活かしていきましょう。起案書に掲載されている人権宣言やクラス目標を守り、楽しい学校生活を送れるようにしましょう。生徒会は、皆さんが充実した生活を送れるよう一生懸命活動します。」

## 進路説明会

10月26日(金)の5校時に体育館で進路説明会が行われました。3年生の生徒と保護者の方が同席して今後の進路関係の予定、成績について、推薦基準、進路決定までの留意点、都立高校の入試、私立高校の入試、高校の授業料、就職について、面接練習についてなど多岐にわたり説明を行いました。都立高校の入試は多様化しています。生徒達も不安や希望で複雑な心境だと思われます。当日の配付資料にもありますが保護者の皆様には義務教育を終えその先の進路について「人生の先輩」として良き相談相手となっていただければ幸いです。

## 第37回 合唱コンクール

10月29日(月)に練馬文化センターで第37回合唱コンクールが開催されました。今年度の合唱コンクールは、審査員の構成と審査項目が変わりました、保護者等の参観者は491名でした。

多くの方に来ていただき感謝申し上げます。特別審査員の下河原先生の講評の抜粋を紹介致します。

楽しく1日間かせていただきました。審査を毎回悩みます。指揮者賞は指揮者として活動しているので私にはこだわりがあります。指揮者はお手本通りにきれいに触れるのはもちろん大事なことです。私は中学校3年生の時、合唱コンクールの指揮者に立候補しました。指揮者にとって大事なことは何だろうと考えました。指揮者は前に立って手を振っているだけの存在ではありません。歌をまとめなければいけない。ピアノだから優しく歌おうよなど身振りで歌い手に伝えなければいけない。指揮者の話をしましたが、皆さんは歌を歌って観客席に何をぶつけるのか、客席に本当に届いているのかなと考えることが大事です。

1年生は今年、良かったです。今年5年目になりますが毎年1年生には、声が出ていないですよ、声を届けましょう。客席に声が届かないと相手に分かってもらえませんかと言ってきました。今年の皆さんはしっかり声が出て、金賞のクラスは本当に気持ちがいい合唱をしていたと思います。すばらしかったです。

2年生は毎年、思っているのですが課題曲が惜しい。この曲は歌いづらかったり、合わせづらい曲なのです。難しい課題に対してぶつかってくる回答がなかなか返ってこないのが残念なところ。細かいメッセージが作曲者の側から投げかけられています。自由曲はどのクラスも熱演が多く、課題曲でそれを聴きたい。毎年思っています。変声期があり、難しい理由、できない理由はいくらでも探すことができますが、それに対して真っ正面からチャレンジしてみるという回答を待っています。

3年生も同様で大地讃頌は大人の合唱団がやっても難しいです。テーマや音域のこと考えると中学生がとても歌い尽くせる曲ではないです。完璧な演奏を求めているわけではありません。曲の持っているイメージに対してどれくらい肉薄できたか、迫れたかについては最上級生としてもう一歩期待したいところです。決して悪いということではないです。もっとできると思います。大きなホールで歌えるチャンスはそうそうないことです。帰ったら思い出し、次はこんな事できたらと考えてみてください。次につながればと思っています。答えを探すきっかけになる1日にしてもらえればいいなと思います。今日はどうもありがとうございました。

## ～合唱コンクール結果～

1年生の部 課題曲「夢の世界を」 2年生の部 課題曲「時の旅人」  
金賞 A組 自由曲「きにみとどけよう」 金賞 B組 自由曲「地球の鼓動」  
銀賞 D組「明日へ」 銀賞 C組 自由曲「輝くために」

3年生の部 課題曲「大地讃頌」

金賞 D組 自由曲「虹」  
銀賞 B組 自由曲「証」

指揮者賞

1年 中野 亮正君 「HEIWA の鐘」  
2年 鍵市 英佳さん 「地球の鼓動」  
3年 南野 裕梨音さん 「虹」

伴奏者賞

1年 出口 智也君 「夢の世界を」  
2年 片山 菜子さん 「君とみた海」  
3年 小山 聡太君 「信じる」